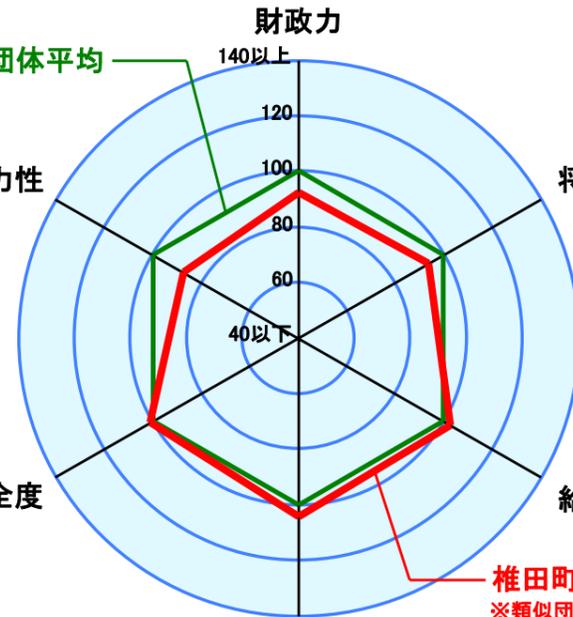


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

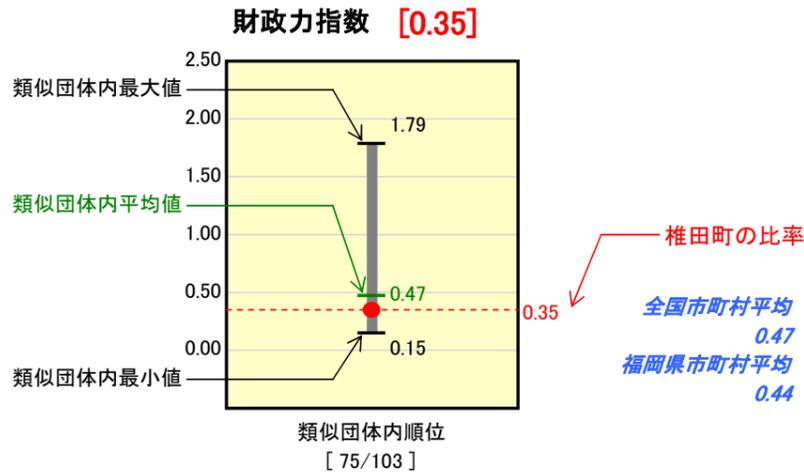
福岡県 椎田町

人口	12,109 人(H17.3.31現在)
面積	51.70 km ²
歳入総額	5,592,383 千円
歳出総額	5,453,445 千円
実質収支	40,691 千円

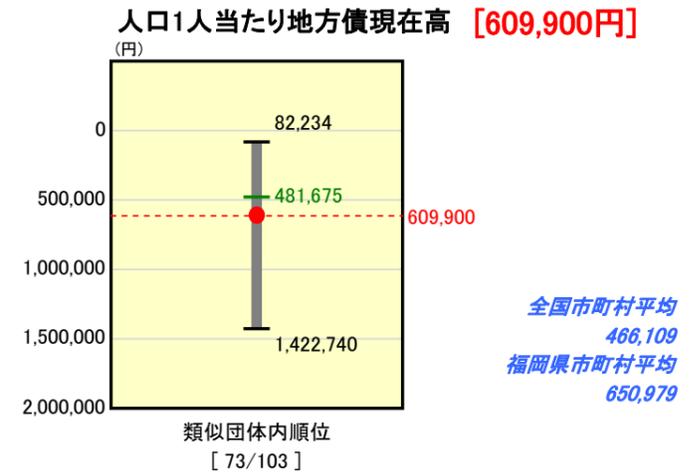


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

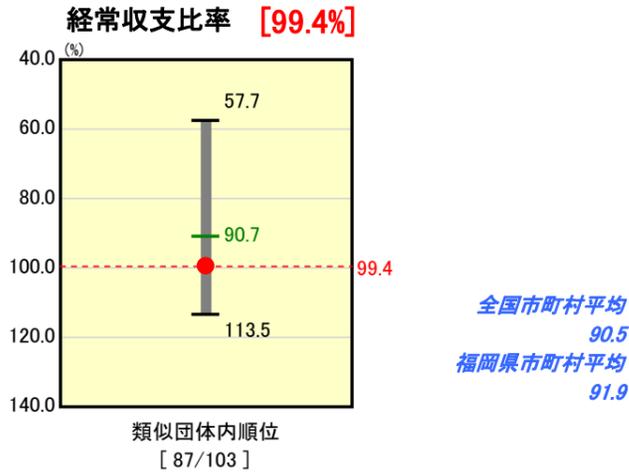
財政力



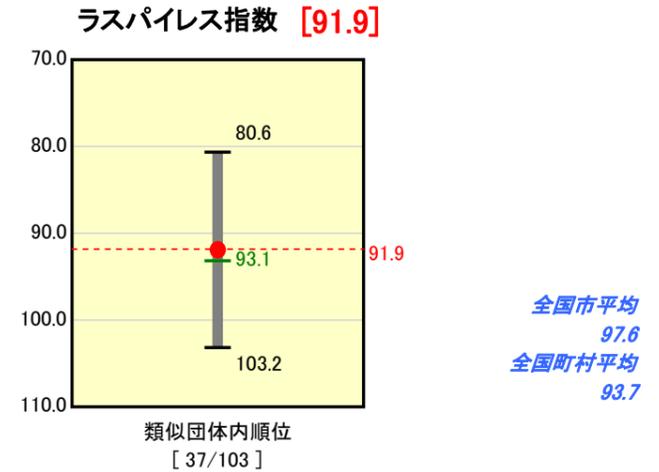
将来負担の健全度



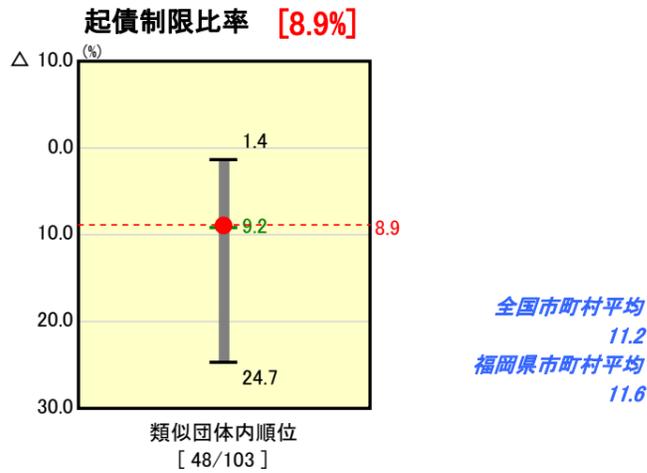
財政構造の弾力性



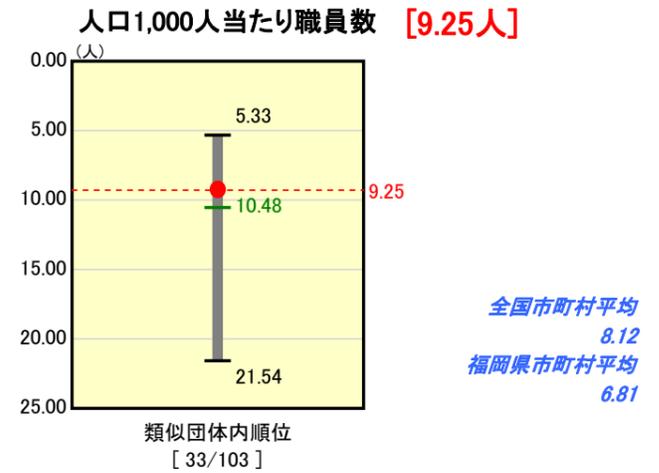
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
人口の減や就業構造等により、財政基盤が弱く0.35と類似団体平均下回っているため、税等歳入の確保ならびに歳出の削減、特に人件費では退職者不補充等による職員数の削減(3年間で2.6%減)及び外部委託の推進により財政基盤の強化に努める。

○経常収支比率
人件費等義務的経費の削減、単独事業における扶助費、補助費等の見直し等により経常経費の削減を更に徹底させる。

○起債制限比率
類似団体平均を下回る8.9%だが、年々増加傾向にあるため、今後計画されている大型事業の取捨選択を行い現水準を確保させる。

○人口1人当たり地方債現在高
過去の大型事業に係る起債借入により類似団体平均の約1.27倍であるため、後年度負担軽減のため事業の厳しい選別により起債依存型体制からの脱却を目指す。

○ラスパイレス指数、人口1,000人当たり職員数
退職不補充や施設管理の民間等委託の推進により類似団体平均を下回っている。今後は、団塊世代の定年退職が予想されるが、引き続き全国平均に近づけるよう定員管理の適正化に努める。